

障害者団体等と連携した道路のバリアフリー化(モデル事業)

資料2-5

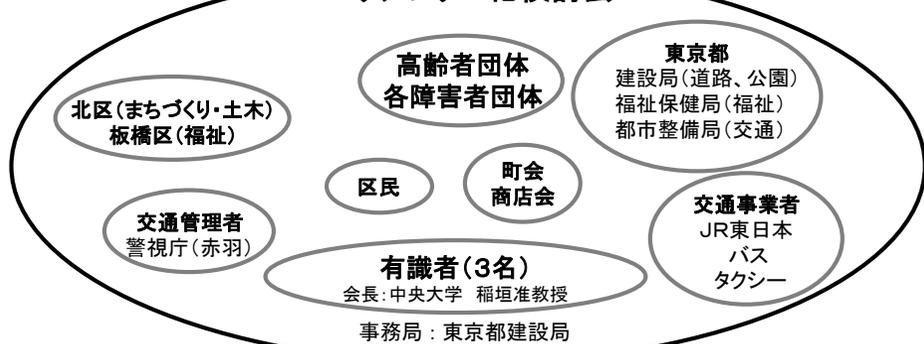
背景

- 東京都福祉のまちづくり推進協議会『意見具申(平成30年6月)』
「(略) 今後は、障害者団体等の参加を得ながら、段差の解消や視覚障害者誘導用ブロックの設置等、より利用者目線に立った取組を進める必要がある」
- 『2020年度に向けた実行プラン(平成30年1月)』
「障害者や高齢者をはじめとする全ての道路利用者が使いやすい道路となるよう、障害者団体等と意見交換を行いながら、モデル事業路線での試験的なバリアフリー化整備を実施」
- モデル事業の実施箇所 JR浮間舟渡駅前広場

概要

- 「浮間舟渡駅前広場バリアフリー化検討会」
有識者、高齢者団体、各障害者団体、地元区、地元町会等、交通事業者、交通管理者、施設管理者で構成
- 駅前広場のバリアフリー化に関する「意見交換」や「まち歩き点検」を実施し、利用者等の意見を施設整備の設計に反映させ、バリアフリー化を実施

浮間舟渡駅前広場 バリアフリー化検討会



実施箇所及び整備項目



- ≪東京都建設局の整備項目≫
横断歩道接続部の段差や勾配の解消、視覚障害者誘導用ブロックの改修、ブロック舗装のがたつき解消、バス降り場の改善、一般車乗降場・荷捌きスペースの確保等
- ≪JR東日本の整備項目≫
ブロック舗装のがたつき解消、タクシー乗降場の段差解消、車止め位置の改善、視覚障害者誘導用ブロックの改修等
- ≪交通管理者の整備項目≫ バリアフリー対応型信号機整備等

事業スケジュール

- これまで第1回～第5回検討会(平成30年11月～令和元年7月)を実施
- ≪今後の取組≫
 - ・バリアフリー化整備工事
 - ・整備効果の確認・検証
 - ・モデル事業の知見とりまとめ



意見交換



まち歩き点検